第３回寒河江市中学校部活動改革検討委員会

日　時　令和６年 12 月 18 日(水)
午後３時 00 分～午後４時 30 分
場　所　寒河江市立図書館　２階　会議室

次　　第

１　開会

２　教育長あいさつ

３　報告・協議
（１）「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ骨子（案）
（２）スポーツ庁による地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）並びに文化部活動改革（地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業）の進捗状況について
（寒河江ベースボールの活動状況についての報告）
（３）寒河江市地域クラブ指導者等研修会について
（４）文化活動体験会について
（５）寒河江市の部活動の現状
（６）部活動地域展開の事例について～他市町での事例～
（７）その他

４　その他
第４回寒河江市部活動改革検討委員会（最終）
令和７年２月 12 日(水)　15:00～16:30
文化センター　第一研修室

５　閉　　会

資料１　「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ骨子（案）
資料２　実証事業の進捗状況について
資料３　寒河江市地域クラブ指導者等研修会について
資料４　寒河江市芸術文化協議会　文化活動　体験お茶会について
資料５　市内中学校部活動の様子をみて（各中学校を伺って）
資料６　部活動地域展開の事例について～他市町での事例～

第３回寒河江市中学校部活動改革検討委員会　名簿

（１）検討委員会

	団体名または役職	氏名	出欠
１	寒河江市教育委員会　教育長		
２	（一社）寒河江市スポーツ協会　副会長		
３	寒河江市スポーツ少年団　本部長		
４	寒河江市スポーツ推進委員会　会長		
５	寒河江市総合スポーツクラブ アスポートさがえ　会長		
６	寒河江市芸術文化協議会　副会長		
７	寒河江市 PTA 連合会　副会長		
８	寒河江市 PTA 連合会　母親委員長		
９	寒河江市立陵東中学校長		
１０	寒河江市立陵南中学校長		
１１	寒河江市立陵西中学校長		

（２）事務局

	役職	氏名
１	寒河江市教育委員会学校教育課長	
２	寒河江市教育委員会学校教育課指導推進室長	
３	寒河江市教育委員会生涯学習課長補佐	
４	寒河江市教育委員会スポーツ振興課長補佐	
５	寒河江市教育委員会学校教育課指導推進室長補佐	
６	寒河江市教育委員会学校教育課学校再編整備室長補佐	
７	寒河江市教育委員会　部活動総括コーディネーター	

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ骨子（案）①

資料１

１．改革の理念

●急激な少子化の中にあっても、将来にわたって子供たちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するのが改革の主目的

●学校で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障

⇒　上記の理念等を的確に表すため、「地域移行」という名称は、例えば、「地域展開」などに変更

※改革を実現するための手法を考える際には、教員の負担軽減が図られることについても考慮

２．改革推進期間の成果等

●令和５年度から「改革推進期間」がスタートし、国の実証事業等を通じて、意欲ある地方公共団体による取組が着実に進捗。既に休日の地域展開を完了している地方公共団体や、令和７年度末又は８年度末までの完了を目指している地方公共団体も存在しており、今後も更に改革が進捗していく見込み

●先行して取り組んだ地方公共団体の創意工夫により、地域クラブ活動のモデルや各種課題の解決のためのノウハウなども明らかとなってきた

●他方、改革途上にある地方公共団体等も多い。これまでの改革の歩みを止めず、より一層の改革を進めていくことが必要

３．更なる改革のために特に地方公共団体に伝えるべきこと

●これから改革に取り組む地方公共団体においては、早急に改革に着手（先行事例を踏まえ、例えば、まずは休日の改革に取り組むなど）

●既に改革に着手している地方公共団体においては、地域の実情等に応じて、更に取組を深化

●改革の理念を実現することが最も重要であり、その実現のための手法については地域の実情等に応じた多様な形態を想定

４．地方公共団体における推進体制の整備

●地方公共団体において、部活動改革に係る専門部署の設置や総括コーディネーターの配置など、適切な推進体制を整備することが重要

●都道府県によるリーダーシップや市区町村へのサポート、複数の市区町村による広域連携の取組も重要

●地域クラブ活動の運営体制については、実証事業等を通じて蓄積された多様なモデルを参考に、地域の実情等に応じて整備することが重要

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ骨子（案）②

５．地域クラブ活動の在り方

●地域クラブ活動においては、部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させるとともに、地域ならではの新たな価値を創出することが重要

＜新たな価値の例＞

子供たちのニーズに応じた多種多様な体験（マルチスポーツやスポーツと文化芸術の融合を含む）、子供たちの個性・得意分野等の尊重、学校を越えた仲間の獲得、様々な世代との豊かな交流、専門的指導者による高度な指導、学校段階にとらわれない継続的な活動など

●地域クラブ活動の具体的な実施形態や活動内容等は多様な形があり得るもの（従来の部活動の在り方に囚われる必要はない）

※民間のクラブチーム等との区別の明確化や質の担保等の観点から、地域クラブ活動の定義・要件や認定方法等を国として示す必要

６．次期改革期間の在り方

●次期改革期間：「改革実行期間」（前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度）

※これから改革に取り組む地方公共団体においても、前期で地域展開（困難な場合は地域連携）に着手

●市区町村が幅広い関係者の理解と協力の下、平日・休日を通した活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から地域の実情等にあった望ましい在り方を見出していくことが重要

●休日及び平日の具体的な取組方針等については、更に議論を深める（※第３回WGでの議論を踏まえて、中間とりまとめ（案）の記載を検討）

●地域の実情等に応じて継続的かつ円滑に取組を進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランスなど費用負担の在り方を検討

７．学習指導要領における取扱い

●地域クラブ活動は、学校単位で行われてきた部活動とともに、教育的意義を有する活動であり、継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、学校を含めた地域全体で生徒の望ましい成長を保障するもの。そのため、地域クラブと学校との連携が重要

●こうした地域クラブ活動の意義や地域展開の進捗等を踏まえつつ、学習指導要領の次期改訂時にあわせて、地域クラブ活動と部活動に関する記載の在り方を検討（※最終とりまとめまでに更に議論を深める）

【最終とりまとめまでに検討する主な事項（個別課題への対応等）】

１．「地域クラブ活動」の実施体制の在り方　２．指導者の質の保障と量の確保　３．「地域クラブ活動」を行う活動場所
４．活動場所への移動　５．競技大会運営の在り方　６．保護者等関係者理解促進　７．生徒の安全確保のための体制
８．特別支援学校等における部活動改革　９．費用の負担の在り方

資料2

令和 6 年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）・文化部活動改革（地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業）の委託事業についての進捗状況

1．寒河江市の受託事業

①部活動総括コーディネーターの配置　済

②指導者研修会の開催（2 回）　済

③中央研修（旅費）　未

2．各地域クラブへの委託事業

		活動開始	指導者研修会参加	
1	寒河江ベースボールクラブ	済	○	
2	寒河江市卓球連盟	済	○	
3	寒河江市剣道連盟	済	○	
4	アドバンテージ（ソフトテニス）	未	○	
5	寒河江 Jr バスケットボールクラブ	済	○	
6	寒河江 SBC（ソフトボール）	済	○	
7	寒河江西村山 Jac（陸上）	済	○	
8	Bon・クラーズスポーツ少年団（複合型）	済	○	
9	崇武館寒河江支部（空手）	済	○	
10	ノバリアクライミングクラブ（クライミング））	未	○	
11	しばはし JVC 中学部女子（バレーボール）	済	○	
12	（仮）寒河江吹奏楽クラブ	未	なし	

今後の予定

- ８月７日(水)・８日(木)　委託事業説明会
- ８月～12 月　各地域クラブとの委託契約
- 12 月５日(木)　委託事業業務完了報告書作成のための説明会
- 12 月末　委託事業の活動終了準備
- 令和７年１月 15 日(水)　各地域クラブからの委託事業完了報告書の提出
- 令和７年2月 10 日(月)　寒河江市から山形県への委託事業完了報告書の提出

資料3

寒河江市地域クラブ指導者等研修会

１．概要

	第１回	第２回
１．日時	７月 13 日(土)9:15～12:30	11 月 30 日(土) 9:15～12:30
２．講義内容	講義１：部活動改革について 講師：寒河江市教育委員会学校教育課 学校再編整備室長補佐　千葉大志 講義２：スポーツ・文化芸術活動の指導にあたって 講師：前寒河江市立陵南中学校長 山口義博　氏 講義３：緊急時の対応について 講師：西村山広域行政事務組合消防本部・消防署 第二課係長　松田　和法　氏	講義１：スポーツ・文化芸術活動の指導にあたって　～中学生を指導するにあたって留意したいこと～　（講義とグループワーク） 講師：寒河江市部活動総括コーディネーター 山口義博　氏 （前寒河江市立陵南中学校長） 講義２：成長期における効果的なトレーニングとリカバリーの重要性 （講義とグループワーク） 講師：国立大学法人山形大学 地域教育文化学部 渡邉　信晃　教授
３．参加者	21 人	13 人
４．参加クラブ	10 クラブ	９クラブ

２．参加者からの声

- ワークショップ形式を取り入れて開催の方がよかった。
- 学校の部活の先生、保護者会長がなぜこういう場にいないのか。我々だけに押し付けていないか。何を考えているか疑問です。
- 内容をもっと絞って欲しい。初めて参加の方は、理解できたか心配です。
- 指導者(または運営の中心)としてクラブの活動を進めようとすると、様々な障壁にぶつかり、行き詰まりを感じることが多い。そういった困り事や悩みをシェアしたり、解決策を探り合ったり、アドバイスしたりする機会を設けていただきたい。 部活動では生じなかった障壁がかなりある。教育委員会や自治体にも それを把握していただきたい。

３．指導者研修会の工夫点

- 土曜日の午前中開催。３時間程度での開催。
- ２ 回とも講義の内容を変えている。講義だけではなくグループワークを積極的に取り入れたこと。
- 西村山地区の他町にも参加募集範囲を広げたこと。
- 研修会終了後に受講終了証を発行。

第053号

受講証明書

[redacted] 殿

あなたは第2回寒河江市地域クラブ指導者等研修会の講習を受講したことを証します

令和6年11月30日

寒河江市教育委員会

講義

①スポーツ・文化活動の指導にあたって

②成長期における効果的なトレーニングと
　リカバリーの重要性

令和６年１１月２日（土）　１４：００～１６：００
於：寒河江市勤労青少年ホーム　講習室（和室）

寒河江市芸術文化協議会 文化活動 体験お茶会

令和６年度「第５６回寒河江市総合文化祭」の開催に合わせ、合同発表の前日に初の試みとして、『文化活動体験お茶会』が開催されました。

寒河江市でも、令和７年７月から中学校の部活動が平日のみとなり、休日は行わなくなる部活動改革が進められることとなっておりますが、寒河江市芸術文化協議会でも、若者に多様な芸術文化活動に触れてもらうための好機ととらえ、市内小学生及び中学生（親子参加を含む）を対象に、体験お茶 会を開催しました。

６名の小中学生と３名の保護者の計９名が参加し､「自分で点てたお茶を自分で飲みたい」との子どもたちからの声に、関係者は感動しました。
はじめに、同芸術文化協議会の茶道団体より呈茶を受け、改めてお抹茶を味わった後、今度は自分たちがお点前の手ほどきを受け、保護者や主催者の芸文協役員にお茶をふるまうまでになり、参加した子どもたちもとても満足していました。

参加者からは、「２時間が短く感じた」「初めてだったけど、どうやってたてるのか知ることができた」とのうえで、また体験したいとの声も聴かれました。席上、部活動改革に対するアンケートを通して理解を深め、有意義なひと時を過ごしました。

当芸術文化協議会では、今回の体験会をきっかけに、お茶会を手始めにさらに、青少年の生きがいづくりの場として、様々な体験交流活動をひろげていきたいと考えております。

資料5

市部活動改革検討委員会資料

2024/12/18

令和6年度　部活動加入状況

	陵南中			陵東中			陵西中			合計		市内地域クラブ（休日の活動にむけて）
	中１	中２	中３	中１	中２	中３	中１	中２	中３			
												＊すべての生徒が地域クラブに参加するわけではない
男子バスケット	16	10	16	10	10	9	1	4	3	51	男子バスケット	陵南フェニックス 寒河江Jrバスケットクラブ
	26			20			5					
女子バスケット	8	4	9	5	4	7	3	4	7	28	女子バスケット	陵南フェニックス 寒河江Jrバスケットクラブ 陵西クラブ（女）
	12			9			7					
野球	2	9	1	2	2	10	2	0	9	17	野球	寒河江ベースボールクラブ
	11			4			2					
男子バレー	10	7	5	2	8	9	2	8	4	37	男子バレー	柴橋ＪＶＣ 陵西クラブ
	17			10			10					
女子バレー	6	5	8	7	4	11	8	4	3	34	女子バレー	柴橋ＪＶＣ 陵西クラブ
	11			11			12					
男子ソフトテニス	15	4	12	8	11	3				38	男子ソフトテニス	ソフトテニスクラブ （アドバンテージ）
	19			19								
女子ソフトテニス	10	6	8	3	13	8				32	女子ソフトテニス	ソフトテニスクラブ （アドバンテージ）
	16			16								
卓球（男子）	4	15	9	8	11	4	5	2	3	45	卓球（男子）	市卓球連盟練習会
	19			19			7					
卓球（女子）	8	6	7	2	0	7	2	3	0	21	卓球（女子）	市卓球連盟練習会
	14			2			5					
ソフトボール	4	1	6	2	5	3	0	3	6	15	ソフトボール	寒河江ＳＢＣ
	5			7			3					
柔道（男子）	3	6	2	7	4	4				20	柔道（男子）	（陵武会）
	9			11								
柔道（女子）	1	2	1	4	3	1				10	柔道（女子）	（陵武会）
	3			7								
剣道（男子）	8	6	3	2	2	7				18	剣道（男子）	市剣道連盟
	14			4								
剣道（女子）	4	4	3	2	0	0				10	剣道（女子）	市剣道連盟
	8			2								
陸上（男子）	5	10	5							15	陸上（男子）	寒河江西村山Jac ＥＴジュニア
	15											
陸上（女子）	1	3	4							4	陸上（女子）	寒河江西村山Jac ＥＴジュニア
	4											
水泳（男子）	4	2	3							6	水泳（男子）	（スイミングクラブ）
	6											
水泳(女子)	0	1	2							1	水泳(女子)	（スイミングクラブ）
	1											
サッカー（男子）	1	6	4							7	サッカー（男子）	
	7											
新体操	5	0	5							5	新体操	
	5											
運動部合計	115	107	113	64	77	83	23	28	35	414	運動部合計	
	222			141			51					

※合計数は中学１～２年生の生徒数

吹奏楽（男子）	0	1	1	1	3	5	2	0	2	7	吹奏楽（男子）	寒河江吹奏楽団との練習（寒河江吹奏楽クラブ）
	1			4			2					
吹奏楽（女子）	13	9	7	12	11	8	8	5	3	58	吹奏楽（女子）	寒河江吹奏楽団との練習（寒河江吹奏楽クラブ）
	22			23			13					
総合文化（男子）				0	0	4				0	総合文化（男子）	
				0								
総合文化（女子）				5	7	2				12	総合文化（女子）	
				12								
美術（男子）	1	0	1							1	美術（男子）	
	1											
美術（女子）	9	8	11							29	美術（女子）	
	17											
PC・科学（男子）	6	2	8							8	PC・科学（男子）	
	8											
PC・科学（女子）	4	0	1							4	PC・科学（女子）	
	4											
創作（男子）	1	1	1							2	創作（男子）	
	2											
創作（女子）	7	5	3							12	創作（女子）	
	12											
文化部合計	41	26	33	18	21	19	10	5	5	121	文化部合計	
	67			39			15					

部活動未加入	31	46	17	44	50	24	9	4	3	25.6%	部活動未加入	＊民間のクラブ（又は中体連種目外） ・硬式野球 ・サッカー ・ワイヴァンズ ・空手 ・ボルダリング（ノバリア） ・Bonクラーズ
	77			94			13			184		
合計	187	179	163	126	148	126	42	37	43	1,2年生	合計	
	366			274			79			719		
	172			115			31			318	来年度の1年生	
部活動/地域クラブ共に未加入	11	33	11	14	26	5	0	0	0	11.7%	部活動/地域クラブ共に未加入	
	44			40			0			84		

※合計数は中学１～２年生の生徒数

中学校部活動の様子をみて（各中学校を伺って）

活動状況

・各校とも新人戦直前の練習期に伺った。全体的には少人数になった部活もあり、以前と比べると活気がないように感じた。
任意加入や少子化の影響もあり活動全体的な人数も少なく感じた。

ご意見、感じていることを伺って（教員）

＜地域移行について不安であると感じていることも含めて＞
・休日活動する子どもとそうでない子の平日活動におけるモチベーションの違いの中で指導しなければならない。
・これまで、中学校部活で培ってきた生活指導面へのよさがなくなる。（部活動指導による生徒への指導）
例えば、あいさつ礼儀など、中学生段階において身につけておきたいと感じる生活習慣をこれまで部活動指導が担っていた面がある。
・これからの中学校の在り方も変わるのではないか。部活動で目標を持って生活した分を、学校行事や教科指導なども含めて充実させる必要がある。
・学校生活でのめりはりのつけ方（その他の時間の使い方）
・平日の部活動のあり方も課題（子どもたちと先生方の意識との違いについて修正必要）
・平日活動の部活動参加について、子どもたちの意識の差（出席と欠席についても）が拡大するのではないか。
・部活動のチーム目標などが立てづらくなる。（個人ごとの目標設定）
・休日の指導と連携していない場合に指導のあり方にも格差が出ることになる

地域移行が進むことについて（プラス面）
・先生方の部活動指導の負担軽減「働き方改革」の大きな前進
・子どもたちの余暇時間が拡大（自分の好きなことに打ち込める）。子どもたちがさまざまな（多様な）地域・民間クラブを選び活動ができる。